

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



茶指導販売課 亀山毅人

病害虫防除のポイント

秋整枝が終わると、病害虫防除も終盤を迎えます。秋整枝終了後から年末にかけてハマキガ類、カンザワハダニ、ナガチャコガネ、チャトゲコナジラミなどの害虫のほか、赤焼病などの病気の防除が必要です。地域によって発生度合いに差があるため、茶園をよく観察して必要に応じて防除しましょう。隣接園で秋冬番茶の摘採をしている場合は、防除を自粛するなどドリフトの防止を心掛けてください。なお、防除規制がある地区においては、各地域の指導に従って防除を行いましょう。

チャトゲコナジラミ〈秋整枝後の10月中旬〜11月上旬〉

チャトゲコナジラミの幼虫が排せつした多量の甘露は、すす病を誘発します。すす病の多発園では樹勢が低下してしまうため、特に注意が必要です。

近年、管内茶園でも常発しているため、防除を行い、すす病を軽減させましょう。

○薬 剤：マシン油（50〜100倍）

○防除時期：秋芽生育期や秋整枝終了後の10月中旬〜11月上旬



赤焼病〈10月中旬〜下旬〉

秋整枝や台風などの強風によってできた傷口から感染するため、整枝直後に防除を行いましょう。幼木園や自然仕立ての茶園などは風の影響を受けやすいため、防風垣や防風ネットなどの防風対策を行うと効果的です。

○薬 剤：コサイド3000（1000倍）

○防除時期：秋整枝後の10月中旬〜下旬および春整枝後の2月下旬〜3月上旬

